



## 2022年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕

2022年6月20日

株主コミュニティ銘柄

会社名 太陽毛糸紡績株式会社

EDINETコード E00555

URL <https://taiyo-keito.co.jp>

本社所在地 埼玉県川口市上青木五丁目5番9号

代表者 代表取締役社長 内山 正治

問合せ先責任者 取締役管理部長 太田 仁典

TEL (048) 265-2414

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

半期報告書提出予定日 2022年7月26日

(百万円未満切り捨て)

### 1. 2022年10月期第2四半期の連結業績 (2021年11月1日～2022年4月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年10月期第2四半期	254	△ 2.8	8	△ 39.2	10	△ 28.2	7	△ 42.8
2021年10月期第2四半期	261	△ 0.2	13	—	14	—	12	—

(注) 包括利益 2022年10月期第2四半期 51百万円 (8.5%) 2021年10月期第2四半期 47百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後1株当 たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2022年10月期第2四半期	2	00	—	—
2021年10月期第2四半期	3	50	—	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
2022年10月期第2四半期	3,488		1,647		47.2	462	53	
2021年10月期	3,398		1,601		47.1	449	64	

(参考) 自己資本 2022年10月期第2四半期 1,647百万円 2021年10月期 1,601百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フロー状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
2022年10月期第2四半期	66		△ 32		△ 20		85	
2021年10月期第2四半期	23		△ 7		△ 4		92	

### 2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期		第2四半期		第3四半期		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
2021年10月期	—	—	—	—	—	—	1	50	1	50
2022年10月期	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2022年10月期(予想)	—	—	—	—	—	—	1	50	1	50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年10月期の連結業績予想（2021年11月1日～2022年10月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
通期	620	33	33	32	8 98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2022年10月期2Q	3,589,000株	2021年10月期	3,589,000株
2022年10月期2Q	26,255株	2021年10月期	26,255株
2022年10月期2Q	3,562,745株	2021年10月期2Q	3,562,831株

4. 2022年10月期第2四半期の個別業績（2021年11月1日～2022年4月30日）

(1) 個別経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
2022年10月期第2四半期	231 △ 2.1	11 △ 9.4	12 △ 6.8	11 △ 16.6	3 35
2021年10月期第2四半期	236 1.8	12 —	13 —	14 —	4 02

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年10月期第2四半期	3,506	1,675	47.8	470 25
2021年10月期	3,412	1,624	47.6	456 01

(参考) 自己資本 2022年10月期第2四半期 1,675百万円 2021年10月期 1,624百万円

5. 2022年10月期の個別業績予想（2021年11月1日～2022年10月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
通期	565	31	31	30	8 42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8
3. 四半期財務諸表	9
(1) 四半期貸借対照表	9
(2) 四半期損益計算書	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### ① 当第2四半期連結会計期間の概況

当第2四半期連結会計期間におけるわが国経済は、3年の長きに及ぶ世界的な新型コロナウイルスの拡大もワクチン接種の普及などにより感染者数の減少傾向が続き、個人消費や設備投資の回復をみた2021年10-12月期国内総生産(GDP)実質年率換算改定値は前期比1.1%増、年率4.6%増と2四半期ぶりのプラス成長を示しました。しかしながら、いまだコロナ禍以前の水準には戻っておりません。一方で2022年1-3月期の国内総生産実質改定値は前期比0.1%減、年率0.5%減のマイナス成長となり持続性のある経済回復には至っておりません。年初からの新型コロナウイルス変異型の流行や世界的な資源高と半導体不足によるインフレ、米欧での金融緩和縮小、さらには2月下旬ロシアによるウクライナへの侵攻による政情不安により、個人消費の伸び悩みと外需が3四半期ぶりのマイナスとなりました。また同期間の需給ギャップは3.7%(年間21兆円)の需要不足で10四半期連続のマイナスとなり、デフレ脱却は道半ばとの見方が大勢を占めております。続く4-6月期には再度のプラス成長とコロナ禍以前の水準への回復が期待されているものの、ウクライナ危機を受けた石油や食料など生活必需品を中心とした物価高、中国のゼロコロナ政策によるロックダウン等の影響によるサプライチェーンの混乱、米国の金利利上げに伴う為替相場の変動などグローバル経済への悪影響などが懸念されています。最近ではこれらの景気下振れリスクを反映し、世界銀行は2022年の世界経済見通しで、実質成長率を2.9%と前回の予測から1.2ポイント下方修正を行っております。

繊維業界におきましては、産業資材分野で低迷していた航空機分野が欧米の航空需要の回復に合わせ復調の兆しがある一方で、半導体不足や部品供給網の混乱で自動車向けは、一時的な生産調整を余儀なくされております。衣料品分野では外出機会の増加に伴って、ファッションアパレルの取扱高は昨年より比べ大きく増加いたしました。一方で世界的な一次産品の高騰により天然繊維の主力原料である綿、及び原油価格の急上昇でポリエステルを中心とした合成繊維の価格の大幅な上昇により、事業収益を大きく圧迫する状況となっております。さらにエネルギーや食料など生活必需品の価格高騰は、選択的嗜好品であるアパレルやレジャーなどへの支出制約が懸念されます。

このような不確実さが顕在化する経営環境のなか、当社グループは広範な情報収集をはかり素早い経営判断のもと、即効性に富む事業施策を展開し事業体質の強化に努めてまいりました。特に需要が不透明な市況が続くなか、各事業分野においては原価低減と効率的な業務経費の運用により、安定した収益体質の確立を重点課題として事業展開してまいりました。その結果、売上高254,684千円(前年同期比2.8%減)となりました。収益面では営業利益8,254千円(前年同期比39.2%減)、経常利益10,468千円(前年同期比28.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益7,124千円(前年同期比42.8%減)となりました。

#### ② セグメントの業績

##### (繊維事業)

当社グループの売上高の約6割を占める主力事業であります。

当第2四半期連結会計期間における事業環境は、欧米諸国に続いて新型コロナウイルス感染症に対する行動制限が徐々に解除され、経済活動の再開に伴い実店舗での衣料品販売に回復の兆しがみえてまいりました。特にコロナ禍ステイホームの浸透によるカジュアル衣料販売一辺倒から、ジャケットやワンピースなどのビジネスアイテムからオケーション商材にも動きがあらわれております。しかしながら世界的パンデミック期間の国内衣料品は2019年度11兆円あった需要が2021年には8.6兆円(22%減)にまで縮小するという厳しい環境となっております。また最近では原材料と資源の高騰によるコスト上昇に加え、企業には資源循環と適切な人権保護のサプライチェーン構築といった新たな社会的機能を装備することが求められております。このような経営環境のなか、当社グループは情報力の強化による環境に配慮した中での事業収益向上を重点課題として事業を推進してまいりました。その結果、受注高183,483千円(前年同期比3.8%増)、売上高148,524千円(同0.6%減)となりました。

##### (賃貸事業)

当第2四半期連結会計期間における事業環境は、前連結会計年度と同様に安定した事業収益となりました。その結果、売上高99,483千円(前年同期比0.5%増)となりました。

##### (物流事業)

当第2四半期連結会計期間における事業環境は、新型コロナウイルス感染症による社会活動への影響が年末にかけ徐々に回復の兆しをみせてまいりましたが、年明けから第6波が発生し足踏み状態が続いております。このような厳しい事業環境のなか、当事業では設備を有効に活用し取引先との関係強化に努め、売上の確保と経費の有効活用を努めてまいりましたが、前期に大口顧客からの委託中止があり大幅に売上を減じることとなりました。その結果、売上高6,676千円(前年同期比50.8%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末比で89,397千円増加し3,488,056千円となりました。流動資産は、前連結会計年度末比で19,052千円増加し485,214千円となりました。主な要因は、現金及び預金14,241千円、棚卸資産15,746千円のそれぞれ増加、受取手形及び売掛金11,354千円の減少であります。

固定資産は、前連結会計年度末比で70,345千円増加し3,002,841千円となりました。主な要因は、有形固定資産11,187千円、投資有価証券の時価評価による59,881千円のそれぞれ増加であります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末比で43,468千円増加し1,840,187千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末比で35,387千円増加し445,141千円となりました。主な要因は、買掛金の31,422千円の増加であります。

固定負債は、前連結会計年度末比で8,081千円増加し1,395,045千円となりました。主な要因は、繰延税金負債15,457千円の増加であります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末比で45,929千円増加し1,647,869千円となりました。主な要因は、利益剰余金1,780千円、その他有価証券評価差額金44,148千円のそれぞれ増加であります。

## (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動により得られた資金を投資活動および財務活動で使用した結果14,241千円増加し85,153千円となりました。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は66,485千円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益7,972千円、売上債権の減少11,354千円、仕入債務の増加31,422千円などによるものであります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は32,135千円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出31,365千円などによるものであります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は20,145千円となりました。これは主に長期借入金の返済による支出などによるものであります。

## (4) 今後の見通し

2022年10月期の連結業績予想につきましては、当初の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2021年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	70,911	85,153
受取手形及び売掛金	55,460	44,105
商品及び製品	244,413	246,355
仕掛品	9,193	7,402
原材料及び貯蔵品	76,079	91,673
その他	10,181	10,600
貸倒引当金	△ 77	△ 77
流動資産合計	466,161	485,214
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	405,210	391,415
機械装置及び運搬具(純額)	18,433	41,976
土地	2,293,314	2,293,314
建設仮勘定	—	2,060
リース資産	2,945	2,467
その他(純額)	2,699	2,556
有形固定資産合計	2,722,604	2,733,791
無形固定資産		
ソフトウェア	301	167
電話加入権	1,124	1,124
無形固定資産合計	1,425	1,291
投資その他の資産		
投資有価証券	140,917	200,799
保険積立金	61,721	62,491
繰延税金資産	836	41
その他	4,990	4,426
投資その他の資産合計	208,466	267,758
固定資産合計	2,932,496	3,002,841
資産合計	3,398,658	3,488,056

	前連結会計年度 (2021年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,514	40,937
短期借入金	60,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	269,107	272,456
1年内返還予定の受入建設協力金	15,730	15,730
リース債務	1,063	1,077
未払金	23,346	40,385
未払費用	57	41
未払法人税等	655	327
未払消費税等	8,208	1,777
その他	22,071	22,407
流動負債合計	409,754	445,141
固定負債		
長期借入金	558,909	559,150
受入建設協力金	102,659	94,793
リース債務	2,308	1,766
繰延税金負債	15,922	31,380
再評価に係る繰延税金負債	546,311	546,311
退職給付に係る負債	10,998	11,788
長期預り敷金保証金	149,854	149,854
固定負債合計	1,386,964	1,395,045
負債合計	1,796,718	1,840,187
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	322,741	322,741
利益剰余金	67,516	69,297
自己株式	△ 1,396	△ 1,396
株主資本合計	488,861	490,641
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	56,833	100,982
土地再評価差額金	1,056,245	1,056,245
その他の包括利益累計額合計	1,113,078	1,157,227
純資産合計	1,601,939	1,647,869
負債純資産合計	3,398,658	3,488,056

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)
売上高	261,914	254,684
売上原価	165,034	160,667
売上総利益	96,880	94,017
販売費及び一般管理費	83,304	85,762
営業利益	13,576	8,254
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	2,163	3,614
為替差益	28	37
助成金収入	1,332	933
その他	378	443
営業外収益合計	3,903	5,029
営業外費用		
支払利息	2,659	2,459
その他	231	356
営業外費用合計	2,890	2,815
経常利益	14,588	10,468
特別利益		
固定資産税減免益	973	486
雇用調整助成金	13,856	4,277
特別利益合計	14,829	4,764
特別損失		
臨時休業等損失	17,658	7,259
特別損失合計	17,658	7,259
税金等調整前四半期純利益	11,760	7,972
法人税、住民税及び事業税	327	327
法人税等調整額	△ 1,028	520
法人税等合計	△ 701	848
四半期純利益	12,461	7,124
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,461	7,124

(四半期連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)
四半期純利益	12,461	7,124
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34,812	44,148
その他の包括利益合計	34,812	44,148
四半期包括利益	47,273	51,273
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	47,273	51,273



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	11,760	7,972
減価償却費	21,063	20,311
受取利息及び受取配当金	△ 2,164	△ 3,614
支払利息	2,659	2,459
為替差損益(△は益)	△ 28	△ 37
固定資産減免益	△ 973	△ 486
雇用調整助成金	△ 13,856	△ 4,277
臨時休業等損失	17,658	7,259
売上債権の増減額(△は増加)	△ 3,546	11,354
棚卸資産の増減額(△は増加)	△ 5,214	△ 15,746
仕入債務の増減額(△は減少)	16,820	31,422
未払消費税等の増減額(△は減少)	△ 5,132	△ 6,430
その他	△ 11,302	18,027
小計	27,742	68,215
利息及び配当金の受取額	2,164	3,614
利息の支払額	△ 2,842	△ 2,453
雇用調整助成金の受取額	15,349	5,022
臨時休業等による支払額	△ 18,331	△ 7,259
法人税等の支払額	△ 655	△ 655
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,427	66,485
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△ 6,965	△ 31,365
無形固定資産の取得による支出	△ 218	—
保険積立金の積立による支出	△ 770	△ 770
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,953	△ 32,135
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	40,000	△ 10,000
長期借入れによる収入	100,000	150,000
長期借入金の返済による支出	△ 132,556	△ 146,410
建設協力金の返還による支出	△ 7,865	△ 7,865
リース債務の返済による支出	△ 514	△ 528
配当金の支払額	△ 3,479	△ 5,341
自己株式の取得による支出	△ 36	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,451	△ 20,145
現金及び現金同等物に係る換算差額	28	37
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	11,050	14,241
現金及び現金同等物の期首残高	81,843	70,911
現金及び現金同等物の四半期末残高	92,893	85,153

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準の適用等)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用について、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しておりますが、利益剰余金の当期首残高への影響はありません。また、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載していません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	連結財務諸表計上額
	繊維事業	賃貸事業	物流事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	149,392	98,946	13,575	261,914	—	261,914
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,000	9,323	8,518	20,842	△ 20,842	—
計	152,392	108,270	22,093	282,756	△ 20,842	261,914
セグメント利益又は損失(△)	△ 8,143	55,943	4,676	52,475	△ 38,899	13,576

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	連結財務諸表計上額
	繊維事業	賃貸事業	物流事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	148,524	99,483	6,676	254,684	—	254,684
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,000	5,516	5,030	13,547	△ 13,547	—
計	151,524	104,999	11,707	268,231	△ 13,547	254,684
セグメント利益又は損失(△)	△ 1,112	52,830	748	52,466	△ 44,211	8,254

(注) その他の収益は、リース取引に関する会計基準に基づく不動産の賃貸収入等であります。

報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しております。

なお、当該変更による当第2四半期連結会計期間の報告セグメントごとの売上高及び利益又は損益金額に影響はありません。

Ⅲ 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
報告セグメント計	282,756	268,231
セグメント間取引消去	△ 20,842	△ 13,547
四半期連結損益計算書の売上高	261,914	254,684

(単位:千円)

利益	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
報告セグメント計	52,475	52,466
セグメント間取引消去	—	—
全社費用(注)	△ 38,899	△ 44,211
四半期連結損益計算書の営業利益	13,576	8,254

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2021年10月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年4月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	63,437	79,122
受取手形及び売掛金	52,651	43,255
商品及び製品	244,413	246,355
仕掛品	9,193	7,402
原材料及び貯蔵品	76,079	91,293
その他	7,835	9,062
流動資産合計	453,609	476,492
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物(純額)	372,805	361,017
構築物(純額)	32,404	30,398
機械及び装置(純額)	18,433	41,976
工具・器具及び備品(純額)	2,092	2,196
土地	2,293,314	2,293,314
建設仮勘定	—	2,060
その他(純額)	607	360
有形固定資産合計	2,719,659	2,731,323
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	301	167
電話加入権	1,124	1,124
無形固定資産合計	1,425	1,291
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	140,917	200,799
関係会社株式	30,000	30,000
保険積立金	61,721	62,491
その他	4,990	4,426
投資その他の資産合計	237,630	297,717
固定資産合計	2,958,714	3,030,333
資産合計	3,412,323	3,506,825

	前事業年度 (2021年10月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,726	44,931
短期借入金	60,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	269,107	272,456
1年内返還予定の受入建設協力金	15,730	15,730
未払金	17,927	34,591
未払費用	57	41
未払法人税等	290	145
未払消費税等	7,206	—
その他	19,967	20,256
流動負債合計	403,014	438,151
固定負債		
長期借入金	558,909	559,150
受入建設協力金	102,659	94,793
繰延税金負債	15,922	31,380
再評価に係る繰延税金負債	546,311	546,311
退職給付引当金	10,998	11,788
長期預り敷金保証金	149,854	149,854
固定負債合計	1,384,655	1,393,279
負債合計	1,787,669	1,831,430
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	322,741	322,741
利益剰余金	90,231	96,823
自己株式	△ 1,396	△ 1,396
株主資本合計	511,575	518,167
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	56,833	100,982
土地再評価差額金	1,056,245	1,056,245
その他の包括利益累計額合計	1,113,078	1,157,227
純資産合計	1,624,654	1,675,394
負債純資産合計	3,412,323	3,506,825

## (2) 四半期損益計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)
売上高	236,245	231,218
売上原価	134,029	129,516
売上総利益	102,216	101,701
販売費及び一般管理費	89,771	90,426
営業利益	12,444	11,275
営業外収益		
受取配当金	2,163	3,614
助成金収入	1,320	33
その他	405	480
営業外収益合計	3,889	4,127
営業外費用		
支払利息	2,603	2,417
その他	179	356
営業外費用合計	2,783	2,773
経常利益	13,550	12,628
特別利益		
固定資産税減免益	973	486
雇用調整助成金	2,584	1,274
特別利益合計	3,557	1,760
特別損失		
臨時休業等損失	4,080	2,582
特別損失合計	4,080	2,582
税引前四半期純利益	13,027	11,806
法人税、住民税及び事業税	145	145
法人税等調整額	△ 1,431	△ 274
法人税等合計	△ 1,286	△ 129
四半期純利益	14,314	11,936